

荻宿町会 防災まちづくり計画

令和2年度 策定

川崎市中原区 荻宿町会

菫宿町会

防災訓練実施マニュアル

令和3年3月作成

川崎市中原区 菫宿町会

目次

【本マニュアルの狙い】	1
--------------------------	----------

【一般編】	3
--------------------	----------

1. 防災訓練の流れ	5
2. 行動基準を示す「活動スイッチ」について	8
3. 要援護者の避難支援について	11
コラム：訓練は「振り返り」までが大切！	13

【実践編】	15
--------------------	-----------

しおり表紙	17
1. 訓練のお知らせ、ポスター	18
2. 防災訓練の骨子	23
3. 事前準備リスト	24
4. 訓練シナリオ	27
5. 役割分担・参加者名簿	29
6. 原稿	30
7. 訓練会場レイアウト	33
8. ツール	34

【資料編】	43
--------------------	-----------

1. 苅宿町会連絡体制表	45
2. 自主防災組織の各班役割	46
3. 苅宿町会防災資器材リスト	47
4. 苅宿町会防災マップ	48
5. 机上訓練サンプル（2020年度実施例）	50
6. 実践訓練サンプル（2020年度実施例）	61

本マニュアルの狙い

近年、水害をはじめとする甚大な自然災害が全国的な問題となっています。このような自然災害が起こった場合には、地域の人どうしが助け合いながら、安全な場所に避難することがとても大切です。

一方で、こうした避難行動は、いざ実践してみようと思うと難しい部分が多いです。発災時に適切な避難行動を行えるようにするためには、日常時から訓練を繰り返し行い、柔軟に行動できる体制を築いておくことが重要です。

本マニュアルは、町会として自主的に防災訓練が行えるよう、訓練の流れや必要な調整・資料を体系的に整理したものです。ここで網羅した内容が「すべて」ではなく、今後、訓練を繰り返し行い、振り返りを実施することで、「どのような訓練や事前準備が必要か」「どんな資料や記録を作っておくべきか」等が明らかになり、本マニュアルの内容をさらに充足していくことも可能です。

日頃から自主的な防災訓練を繰り返し行うことで、「自助・共助」の力を鍛え、発災時に一人も犠牲者を出さない地域を目指していきましょう。

【本マニュアルの構成】

一般編

防災訓練の流れやメニューの組み立て方、避難行動時に必要な心がけなど、「防災訓練のいろは」に関する内容をまとめています。

+

実践編

実際の防災訓練で活用できる資料や訓練シナリオなど、「しおり」として使える内容をまとめています。

+

資料編

町宿町会の資料や関連情報など、訓練の際に必要なに応じて活用できる内容をまとめています。

【一般編】

ここでは、「防災訓練のイロハ」を整理するとともに、避難の行動基準などの必要事項をまとめます。

1. 防災訓練の流れ
2. 行動基準を示す「活動スイッチ」について
3. 要援護者の避難支援について

コラム：訓練は「振り返り」までが大切！

1. 防災訓練の流れ

★まず、「何を目的とした訓練にするか？」を整理しよう！

自然災害の種類は多岐にわたり、水害・土砂災害のように被害が予見できるものと、火災・地震のように突発的に発生するものがあります。

これらの災害に対し、一度の訓練でシミュレーションを行うことは難しいため、一つ一つ行っていけるよう、訓練ごとに「何を目的とするか？」を整理することが重要です。

例えば、「水害に備えるため、電話連絡網による参集+災害対策本部運営のシミュレーションの訓練をやってみよう」や、「火災に備えるため、消火ホースキットの使い方を学んでみよう」というように、「どんな災害に備え、どんな訓練メニューをこなすか」ということを、第一に整理することが有効です。

次ページより、防災訓練の流れとメニューの設定方法についてまとめます。

【防災訓練の流れ】

防災訓練の流れは、「①発災→②参集→③活動→④振り返り」という4つのステップに分けられます。これに沿って訓練を行うことで、避難行動の一連の流れと、各ステップでの必要な行動を習得することができます。

以下に示すように、ステップごとに状況や訓練メニューを想定しておき、その組み合わせにより訓練の流れをつくることになります。

①発災

災害には、突発的に発生するもの・被害が予測できるもの等、さまざまな種類があるため、ここでは「どのような災害が発生したか」の状況設定を行います。



火災



地震



水害

②参集

参集方法には、「電話連絡網による周知」「災害レベルに応じた自動参集」等があります。方法によって自分たちの行動の仕方が変わるため、さまざまな方法に備え準備しておくといいいでしょう。



電話連絡網



自動参集

③活動

発災時に取るべき行動・行うべき活動は多岐にわたります。これらの活動内容を一度の訓練ですべて行うことは難しいですが、流れの中で一つずつこなしていくことで、さまざまな状況に対応することができるようになるでしょう。



要援護者支援



消火訓練



AED 利用



炊き出し



防災倉庫点検



負傷者移送

④振り返り

①～③の流れを行ったうえで、意見交換やアンケート等により、訓練の中で「何を学んだか」「何が重要だったか」「何が課題か」を振り返っておくことで、実際の避難行動をより効果的に行うことができます。



意見交換



アンケート

【メニューの設定例】

以下は、ステップごとに状況や訓練メニューを選択し、一連の流れをつくったイメージになります。

①発災



火災



地震



水害

水害が発生！

②参集

連絡網で参集連絡



電話連絡網



自動参集

③活動



要援護者支援



消火訓練



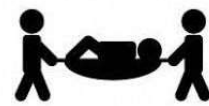
AED 利用



炊き出し



防災倉庫点検



負傷者移送

避難支援を
シミュレーション

④振り返り



意見交換



アンケート

気づき・課題の
共有

2. 行動基準を示す「活動スイッチ」について

自然災害は、「被害が予見できるもの」と「突発的に発生するもの」があるため、それぞれに応じて避難活動のための「行動基準」を決めておく必要があります。

例えば、被害が予見できる水害の場合、以下のように心の準備を行う『準備会』の段階、本格的に活動を開始する「災害対策本部」の段階があります。これらの段階を経て、被害が発生する前には避難活動を終えていることが重要です。



図：避難活動の行動基準のイメージ

そこで苅宿町会では、さまざまな自然災害に対して柔軟に活動を行えるよう、次ページのように、段階ごとに行動基準を設定し、これを「活動スイッチ」と呼ぶことにします。

【苧宿町会の活動スイッチ】

	準備会	災害対策本部
立上げの基準	<p>被害が予見できる災害に備える場合に立上げ (超大型台風の上陸前日など)</p>	<p>災害に応じ、町会としての災害対策活動を開始</p> <p>* 火災：発生したらすぐに</p> <p>* 地震：震度5弱以上</p> <p>* 水害：警戒レベル3以上</p>
参集場所	<p>苧宿町会館</p> 	<p>苧宿小学校 (避難所本部は特別活動室)</p> 
参集者	自主防災組織の各班副班長以上	自主防災組織の全メンバー
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報収集 ・ 各班の活動内容の確認 ・ 翌日の活動予告の連絡 ・ 要援護者への避難事前周知 <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の本格始動の連絡 ・ 情報収集・発信 ・ 救命活動、消火活動 ・ 要援護者の安否確認、避難支援 ・ 避難所開設・運営 <p>など</p>

※地震・水害発生時の本部立上げ基準の考え方

○地震：地震被害想定において、苧宿地区では震度6強が想定されています。避難所開設は震度6弱からとなっていますが、震度5弱の地震発生頻度が十数年に一度であり、実際の地震災害に備えて訓練を重ねるため、本部立上げの基準を「**震度5弱以上**」と設定しています。

○水害：高齢者等避難開始の基準が「警戒レベル3」であることを踏まえると、避難時に支援が必要な方のサポートもこれに合わせて開始することが必要です。これを踏まえ、本部立上げの基準は「**警戒レベル3以上**」と設定しています。

(参考) 警戒レベルと気象庁等の情報の一対一対応表

警戒レベル	避難行動等	避難情報等	【警戒レベル相当情報(例)】		
			降雨	洪水	相当する警戒レベル
警戒レベル 5	既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報 (川崎市が発令)	大雨 特別警報	氾濫 発生情報	警戒レベル 5相当
警戒レベル 4	速やかに避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難指示(緊急) 避難勧告 (川崎市が発令)	土砂災害 警戒情報	氾濫 危険情報	警戒レベル 4相当
警戒レベル 3	避難に時間を要する人(ご高齢の方、体の不自由な方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。 その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・ 高齢者等避難開始 (川崎市が発令)	大雨警報	洪水警報 氾濫警戒情報	警戒レベル 3相当
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	大雨注意報 等 (気象庁が発表)	これらは、自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。		
警戒レベル 1	災害の心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)			

出典：川崎市内水ハザードマップ（中原区版）

3. 要援護者の避難支援について

町会内には、お一人での避難が難しい「要援護者」の方がいらっしゃいます。発災時に一人も犠牲者を出さないことを目指すためには、要援護者の方の避難支援を迅速に行うことが不可欠です。

ここでは、要援護者の避難支援を行う「防災サポーター（支援者）」に必要な事項や、活用できるツールの内容について説明します。

◆避難支援の活動ステップ

①発災時

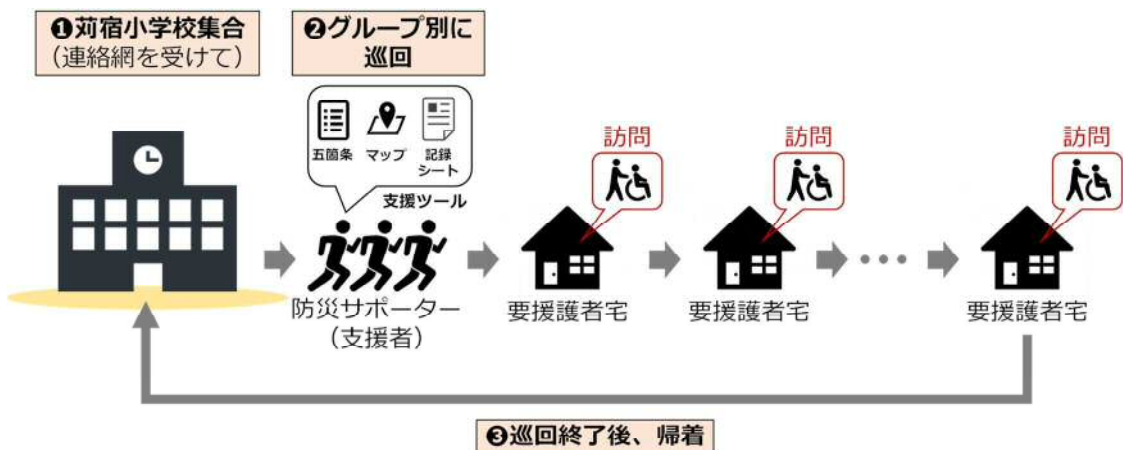
災害が発生したら、まずは自分の身の安全を確保したうえで、避難支援準備、情報収集といった「心の準備」を行います。

②参集

防災対策連絡表による連絡後、災害対策本部に集合し、避難支援や避難所運営の準備を行います。

③活動

グループごとに担当するお宅を訪問し、要援護者の方と共に避難所へ移動します。このとき、要援護者の方のご事情やご体調に十分留意した支援が必要です。



※支援ツールについて

防災サポーター（支援者）が使う支援ツールには、以下の3種類があります。これらのツールを、実際の発災時にも活用するものとします。詳細は、実践編の「8. ツール」を参照してください。

行動指針五箇条	要援護者・支援者マップ	要援護者記録シート																																																				
<p style="text-align: center;">(案)</p> <p style="text-align: center;">要援護者支援 行動指針五箇条</p> <p>一、まずは自分や家族の安全を確保！</p> <p>二、以下の場合になったら、支援活動を開始！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中野区災害対策本部から要請があった場合 ・警戒レベル4以上の水害が発生した場合 ・震度5弱以上の地震が発生した場合 ・その他、町会長や役員が必要と判断した場合 <p>実施する要援護者のお名前と連絡先</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>名前：</td> <td>TEL：</td> </tr> </table> <p>三、基本は複数人で1人の要援護者を支援！1人では行動しない！</p> <p>一緒に行動する支援者のお名前と連絡先</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>名前：</td> <td>TEL：</td> </tr> </table> <p>四、自宅避難が基本！</p> <p>災害状況に応じて避難場所へ誘導！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震に伴う家屋倒壊 → 避難所（菊前小学校） ・警戒レベル4以上の発令 → 避難所（菊前小学校） ・火災が発生 → 避難所（菊前小学校）もしくは 広域避難場所（中原平和公園） <p>※避難が難しい場合は、隣家に比せり安全な場所へ</p> <p>五、安否確認や避難支援が完了したら●●●●に連絡する！</p>	名前：	TEL：	名前：	TEL：		<p style="text-align: center;">(案)</p> <p style="text-align: center;">要援護者記録シート</p> <p>一、No.1</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>フリガナ</th> <th>性別</th> <th>年齢</th> <th>国籍</th> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td>男/女</td> <td>歳</td> <td>国</td> </tr> <tr> <td colspan="4">メモ</td> </tr> </table> <p>二、No.2</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>フリガナ</th> <th>性別</th> <th>年齢</th> <th>国籍</th> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td>男/女</td> <td>歳</td> <td>国</td> </tr> <tr> <td colspan="4">メモ</td> </tr> </table> <p>三、No.3</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>フリガナ</th> <th>性別</th> <th>年齢</th> <th>国籍</th> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td>男/女</td> <td>歳</td> <td>国</td> </tr> <tr> <td colspan="4">メモ</td> </tr> </table> <p>四、No.4</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>フリガナ</th> <th>性別</th> <th>年齢</th> <th>国籍</th> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td>男/女</td> <td>歳</td> <td>国</td> </tr> <tr> <td colspan="4">メモ</td> </tr> </table>	フリガナ	性別	年齢	国籍	氏名	男/女	歳	国	メモ				フリガナ	性別	年齢	国籍	氏名	男/女	歳	国	メモ				フリガナ	性別	年齢	国籍	氏名	男/女	歳	国	メモ				フリガナ	性別	年齢	国籍	氏名	男/女	歳	国	メモ			
名前：	TEL：																																																					
名前：	TEL：																																																					
フリガナ	性別	年齢	国籍																																																			
氏名	男/女	歳	国																																																			
メモ																																																						
フリガナ	性別	年齢	国籍																																																			
氏名	男/女	歳	国																																																			
メモ																																																						
フリガナ	性別	年齢	国籍																																																			
氏名	男/女	歳	国																																																			
メモ																																																						
フリガナ	性別	年齢	国籍																																																			
氏名	男/女	歳	国																																																			
メモ																																																						
<ul style="list-style-type: none"> ・避難支援を行う際の心構え ・活動開始の基準や避難場所の情報が網羅 	<ul style="list-style-type: none"> ・要援護者のお宅と、協働する支援者のお宅の位置を記録するマップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援担当する要援護者の方に関する、日頃の状況や避難時の配慮事項の記録用紙 																																																				



コラム：訓練は「振り返り」までが大切！

訓練は、予め準備したメニューをこなすことも大切ですが、その後の「振り返り」が重要です。訓練を通して、思ったこと・気づいたことを参加者内で議論・共有しておくことで、共助による避難行動を効果的に行うことができるでしょう。

振り返る内容のポイント

- 「これはなるほど！」と、良いと思ったこと
 - 「これは大事！」と、重要だと思ったこと
 - 「ここは今後しっかり考えないとね」と、課題に感じたこと
- など

「PDCA サイクル」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。これは、英語である「PLAN（計画）」「DO（実行）」「CHECK（評価）」「ACTION（改善）」の頭文字を取った、事業の一連の流れを検討する際に考慮する概念です。



「振り返り」は、ここでいう「CHECK」に該当し、その次の「ACTION」、つまり「次なる行動」につなげるための重要な段階だといえます。繰り返し訓練を行い、議論し、町会として持続性のある「防災まちづくりの体制」を築いていきましょう！

【実践編】

ここでは、実際の防災訓練で「しおり」として使える資料を整理しています。

1. 訓練のお知らせ、ポスター
2. 防災訓練の骨子
3. 事前準備リスト
4. 訓練シナリオ
5. 役割分担・参加者名簿
6. 原稿
7. 訓練会場レイアウト
8. ツール

**2021
苅宿町会
防災訓練**

当日は開催準備前の作業がありますので
午前8時00分までに町会館に参集願います

このしおりは、訓練終了までご持参ください。

2021年 月

1. 訓練のお知らせ、ポスター

〇〇年〇月〇日

苧宿町会役員の皆様へ

苧宿町会防災部

防災訓練のご案内とご出席のお願い

拝啓 苧宿町会の皆様には常日頃、町会活動にご理解とご協力を頂きまして厚く感謝申し上げます。

さて、恒例になっております、防災訓練を来る〇月〇日（〇曜日）に実施する予定です。つきましては、町会役員の皆様のご出席をお願い申し上げます。

敬具

記

1. ご出席を頂く事項

〇月〇日（〇曜日）に苧宿町会館にて〇〇時から開催予定の防災訓練にご出席いただき、訓練当日の運営支援についてご協力をお願い致します。

2. ご協力を頂く事項

訓練当日の運営支援に関する事項 他

以上

〇〇年〇月〇日

苧宿町会役員の皆様へ

苧宿町会防災部

電話連絡網訓練と要援護者避難支援訓練のご案内

苧宿町会では、近い将来に予想される大規模地震や水害に備え、防災訓練を毎年実施しております。

発災時の避難活動において、町会役員どうしの連携を十分に図ること、及び避難時に支援が必要な方のサポートを迅速に行うことは大切です。

そこで今回は、電話連絡網訓練と要援護者のお宅の巡回訓練を行い、避難支援活動のシミュレーションを行います。

お忙しい所ではございますが、ご参加の程よろしくお願い致します。

当日の予定

開催日時：〇〇年〇月〇日（〇）14:00～16:30

開催場所：苧宿小学校西校舎1階 特別活動室（※巡回訓練のみ）

タイムスケジュール：下表のとおり

時間	内容	備考
14:00	電話連絡網訓練開始（※全役員対象）	会長より連絡発信
14:45	苧宿小学校集合（※巡回訓練参加者のみ）	集合後、内容の全体説明を実施
15:00	巡回訓練開始	複数グループに分かれて巡回 帰着後、適宜小休憩
16:00	参加者で全体振り返り・意見交換	
16:30	実践訓練終了	終了後、関係者にて片付け

訓練メニューについて

1. 電話連絡網訓練

発災時の役員どうしの連絡伝達及び連携を綿密に行えるようにするため、自主防災組織に属する全役員を対象に電話連絡網の伝達訓練を行います。

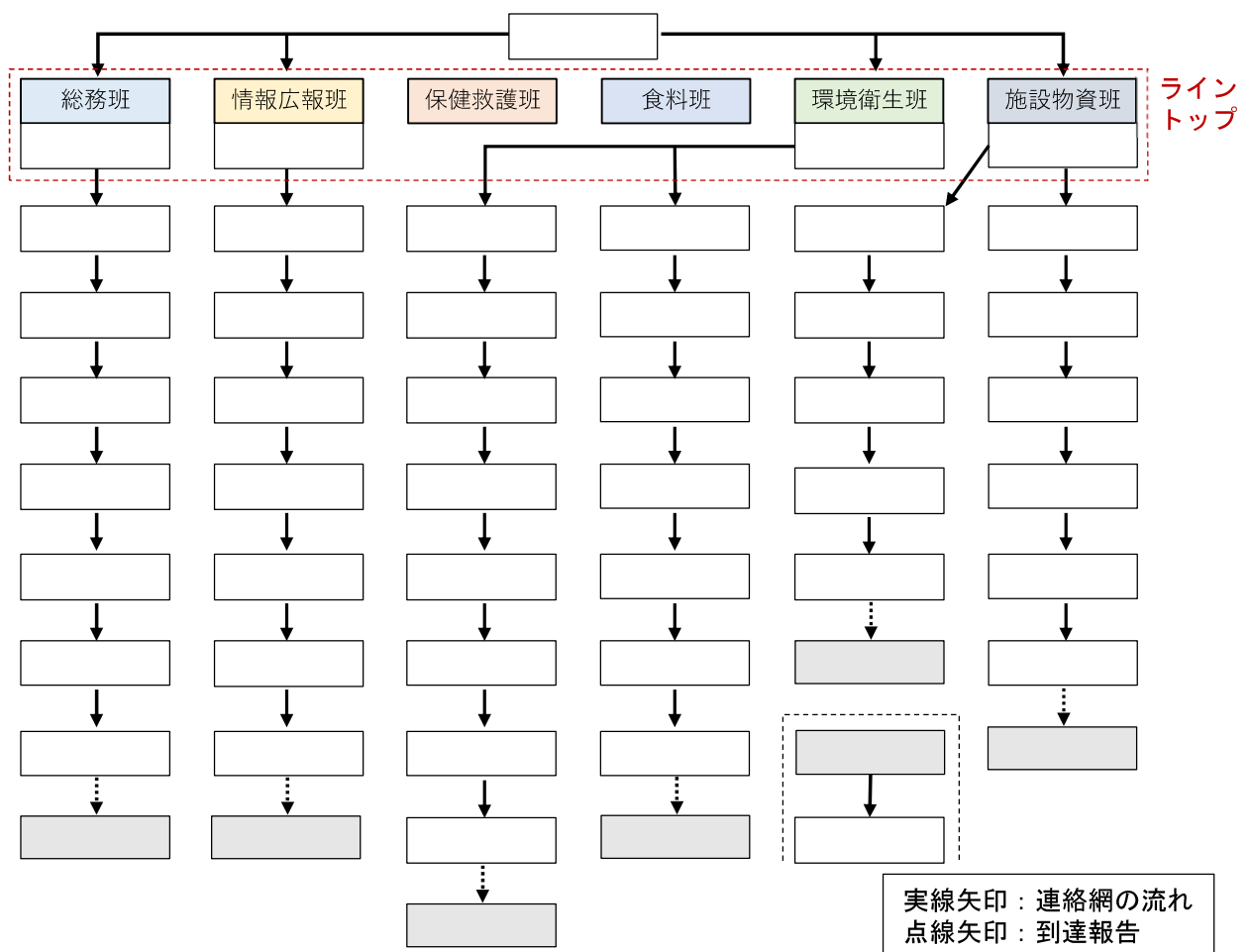
①実施予定時間： 14:00～14:45 (※終了時刻は予定)

②伝達内容：会長より、「苧宿町会連絡体制表」に基づき下記内容を発信します。

伝達内容：『訓練です。災害が発生したので、要援護者の避難支援を行うために避難場所の苧宿小学校に集合してください。』

③電話連絡網の流し方：

- ・連絡の流れは、苧宿町会連絡体制表をご確認ください。各ラインの上部から下部にかけて、連絡網を流してください。ただし、連絡がつかない場合は次の人に連絡を回し、その後、ラインのトップの方に不在状況を報告して下さい。
- ・各ライン末尾の方は、ラインのトップの方の携帯電話に「到達報告」をして下さい。
- ・なお、本訓練後の「巡回訓練」出席対象者の方は、連絡を回し終えた後、会場の苧宿小学校に集合して下さい。



図：連絡の流れイメージ

2. 要援護者宅の巡回訓練

発災時に避難支援が必要な方（要援護者）のサポートは、いざという時に行えるようにするために、事前にシミュレーションしておくことが重要です。今回は複数チームに分かれ、要援護者宅を巡回する訓練を行います。

①実施予定時間： 14:45～16:30（※開始時刻は予定）

②開催場所： 苧宿小学校西校舎1階 特別活動室

③参加対象役員： コアメンバーより、本日の定例会にてお声がけさせていただきます

④実施内容：

- ・参加対象者の全員集合後、実施内容について全体説明を行います。
- ・巡回は、複数エリア・グループに分かれて実施します。グループ分けは、訓練当日にお伝えします。
- ・巡回では、要援護者のお宅の位置把握を行います。
（状況を見ながら、担当民生委員によるピンポン・お声がけなど行うお宅もあります）
- ・対象となるお宅の巡回が完了したら、会場（苧宿小学校）に戻ります。
- ・各グループの巡回完了後、参加者による振り返りを行います。訓練の中で「よかった点・気づいた点・課題だと思った点」などを振り返り、共有します。

いざ！！というときに備えて訓練への参加をぜひともお願い致します。

以上

苧宿町会 防災訓練

〇〇年〇月〇日（〇曜日）〇時～

会場：苧宿小学校

自助



自分で前もって 災害の備えを

共助



困ったときは 近所同士で助け合い

公助



行政だからこそ できる支援を

訓練で得た経験は きっと役に立ちます
皆様の積極的なご参加をお願い致します

2. 防災訓練の骨子

2021年〇月〇日開催の防災訓練について

荻宿町会

発生する確率が高い首都直下型地震に対応できる能力を身につけるため、下記により防災訓練を実施する。

記

1. 訓練概要

次の項目を同時進行で進める総合訓練とする。なお、一部の訓練については、今後の打合せ等により実施しない項目もある。

- (1) 超大型台風の接近に伴う警戒レベルの引上げにより、防災対策本部を立ち上げる。
- (2) 電話連絡網を回し、荻宿町会館に参集する。
- (3) 避難所開設のために学校への資材運搬訓練を行う。
- (4) 災害時要援護者の情報交換を行い、状況を把握する。
- (5) 災害時要援護者を訪問し、災害時の行動について相談する。可能な場合は避難所までの支援訓練を行う。
- (6) 防災倉庫の備品について点検管理を行う。
- (7) 炊き出しによる避難食提供訓練

2. 訓練予定

- (1) 午前10時から2時間程度を予定し、詳細は別に定める。
- (2) 中原区の総合防災訓練にあわせて、訓練項目を一部変更する場合がある。

3. 活動組織

- (1) 荻宿町会三役及び役員が中心となり、全戸の居住者に協力と参加を求め、活動組織を構成する。

以上

3. 事前準備リスト

(1) 準備品リスト

一般備品		
項 目	数 量	保 管 場 所
<input type="checkbox"/> 2022 苅宿町会防災訓練の冊子	30 セット	
<input type="checkbox"/> ネームカード	30 セット	
<input type="checkbox"/> 参加者名簿	2 枚	
<input type="checkbox"/> ゼッケン	30 枚	
<input type="checkbox"/> 参加者アンケート	30 枚	
<input type="checkbox"/> 除菌用アルコール	2 個	
<input type="checkbox"/> 予備マスク	10 枚	
<input type="checkbox"/> 検温機	1 個	
<input type="checkbox"/> ごみ袋 (50L)	3 枚	
<input type="checkbox"/> 記録用紙	2 枚	
<input type="checkbox"/> カメラ	1 個	
<input type="checkbox"/>		

要援護者避難支援訓練		
項 目	数 量	保 管 場 所
<input type="checkbox"/> 要援護者支援ツール一式	30 セット	
<input type="checkbox"/> (5 箇条、マップ、リスト)		
<input type="checkbox"/> 挨拶チラシ	20 枚	
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		

炊き出し訓練		
項 目	数 量	保 管 場 所
<input type="checkbox"/> カセットコンロとガス缶	30 セット	
<input type="checkbox"/> アルファ米	50 食分	
<input type="checkbox"/> やかん	2 個	
<input type="checkbox"/> パックと割箸	50 セット	
<input type="checkbox"/> テーブル	1 セット	
<input type="checkbox"/> バケツ (消火用)	1 セット	
<input type="checkbox"/>		

防災倉庫点検		
項 目	数 量	保 管 場 所
<input type="checkbox"/> 点検シート	2 枚	
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		

(2) 周知リスト

(周知確認リスト)	
項 目	備 考
<input type="checkbox"/> 町会の会合でお知らせする	
<input type="checkbox"/> 連絡網で事前共有を行う	
<input type="checkbox"/> 回覧板で周知	
<input type="checkbox"/> 要援護者への事前連絡	
<input type="checkbox"/> 町会掲示板での周知	
<input type="checkbox"/> 町会ブログでの周知	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	

(3) 関係者連絡リスト

(関係者リスト)		
項 目	担 当	連 絡 先
<input type="checkbox"/> 苅宿小学校		044-422-4409
<input type="checkbox"/> 中原区役所 危機管理担当		044-744-3141
<input type="checkbox"/> 中原消防署		044-411-0119
<input type="checkbox"/> 地域包括ケアセンター		
<input type="checkbox"/> 道路公園センター		044-788-2311
<input type="checkbox"/> 川崎市役所 防災まちづくり推進課	吉田	044-200-3012
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		

4. 訓練シナリオ

【訓練シナリオ 1/2】

時間	ステップ	想定する状況・具体的な活動内容	補足
前日	前日準備	ゼッケン等の事前準備、調理器具等の確認	
08:00	当日準備	<ul style="list-style-type: none"> ○本部要員は苅宿町会館に集合 ○会場設営（机の設置）、トランシーバー等の必要なものを身に着ける ○シナリオの最終確認 ○訓練資材、炊き出し材料、炊飯器材を防災倉庫から出す。 ○炊飯は苅宿公園で実施。テーブル、カセットコンロを用意。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者リスト／本部要員 ・会場レイアウト、写真を参考に設置する ・準備品リストで確認
10:00	訓練開始 ①発災	<ul style="list-style-type: none"> ○防災部長による災害状況の説明（原稿） ○会長による準備会・災害対策本部設置の宣言（原稿） 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練原稿（1） ・訓練原稿（2）
10:05	②参集	<ul style="list-style-type: none"> ○電話連絡網の開始（原稿）。参集状況の記録作成。 ○苅宿町会館に参集。連絡訓練の結果の説明。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練原稿（3）
10:30	③活動	<ul style="list-style-type: none"> ○防災部長より訓練の概要説明 ○会長からグループ毎に活動内容の指示 ○グループ毎に活動開始。班長から活動内容についてレクチャーする。 	

【訓練シナリオ 2/2】

時間	ステップ	想定する状況・具体的な活動内容	補足
11:30	④振り返り	<p>◆要援護者宅巡回訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A～Dの4つのグループに分かれ、班のリーダーから要援護者に関する状況ヒアリング。参加者は自分の支援ツールに情報の書き込みを行う。 ・担当する要援護者のお宅をグループごとに訪問。 ・事前に依頼した要援護者は、避難所の町会館まで移動支援。 <p>◆防災倉庫点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災資器材の点検、整理を行い、点検シートに記録する。 <p>◆炊き出し訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カセットコンロを使ってお湯を作り、アルファ米をふやかす。50食分で約7.5Lのお湯が必要。約20分程度かかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練原稿(4) A グループリーダー: B グループリーダー: C グループリーダー: D グループリーダー: <p>チラシを持参し、取組を知らない方に配布。</p> <p>避難支援予定者: 避難支援予定者: 避難支援予定者: 避難支援予定者:</p>
12:30	避難食提供	<ul style="list-style-type: none"> ○参加者への避難食提供(例:アルファ米ドライカレー) 	
13:00	訓練終了	後片付け	

※要援護者宅巡回訓練で使用するツール・資料

- ・要援護者支援 行動指針五箇条：36 ページ
- ・要援護者 要援護者記録シート：38-39 ページ
- ・町宿町会 要援護者・支援者マップ：37 ページ
- ・巡回訓練グループ分け・担当要援護者一覧表：個人情報のため、本マニュアルには未掲載

5. 役割分担・参加者名簿

●本部要員

お名前	組織表	役割1	役割2
〇〇 〇〇	本部長	全体の統括	全体の統括
〇〇 〇〇	副本部長	本部長の補佐	要援護者 A グループリーダー
〇〇 〇〇			...
〇〇 〇〇			
〇〇 〇〇			
〇〇 〇〇		記録・写真	
〇〇 〇〇			
〇〇 〇〇			
〇〇 〇〇			
〇〇 〇〇			...

●町会活動員・一般参加者

お名前	組織表	役割1	役割2
〇〇 〇〇	保険救護	要援護者支援	A グループ
〇〇 〇〇	保険救護	要援護者支援	A グループ
〇〇 〇〇	環境衛生	要援護者支援	A グループ、民生委員
〇〇 〇〇	環境衛生	要援護者支援	A グループ
〇〇 〇〇	施設物資		倉庫点検
〇〇 〇〇	施設物資		
〇〇 〇〇	施設物資		
〇〇 〇〇	施設物資		
〇〇 〇〇	施設物資		倉庫点検
〇〇 〇〇	施設物資		倉庫点検

6. 原稿

(1) 防災部長による災害状況説明 原稿

発言者	内 容
防災部長	会長、ただ今警戒レベル3が発令されました。高齢者避難開始となります。また、避難所開設の連絡がありました。苅宿町会災害スイッチの基準に基づき、災害対策本部を設置し、活動を開始しましょう。

(2) 会長による災害対策本部設置の宣言 原稿

発言者	内 容
会長	了解、ただ今より苅宿町会災害対策本部を設置します。各班の副班長は、班員に連絡網を回して参集を呼びかけて下さい。

(3) 電話連絡網訓練 原稿

1. 連絡網のやり取りは携帯電話を基本としますが、所持していない場合は、自宅の固定電話を使用しましょう。
2. 町会長からの発信連絡があり次第、開始します。なお、開始時刻・各班の伝達時刻（連絡が回り切った時間）を記録しておくとい良いでしょう。
3. 原稿の一例は以下の通りです。訓練の内容に応じ、伝達内容を調整すると良いでしょう。

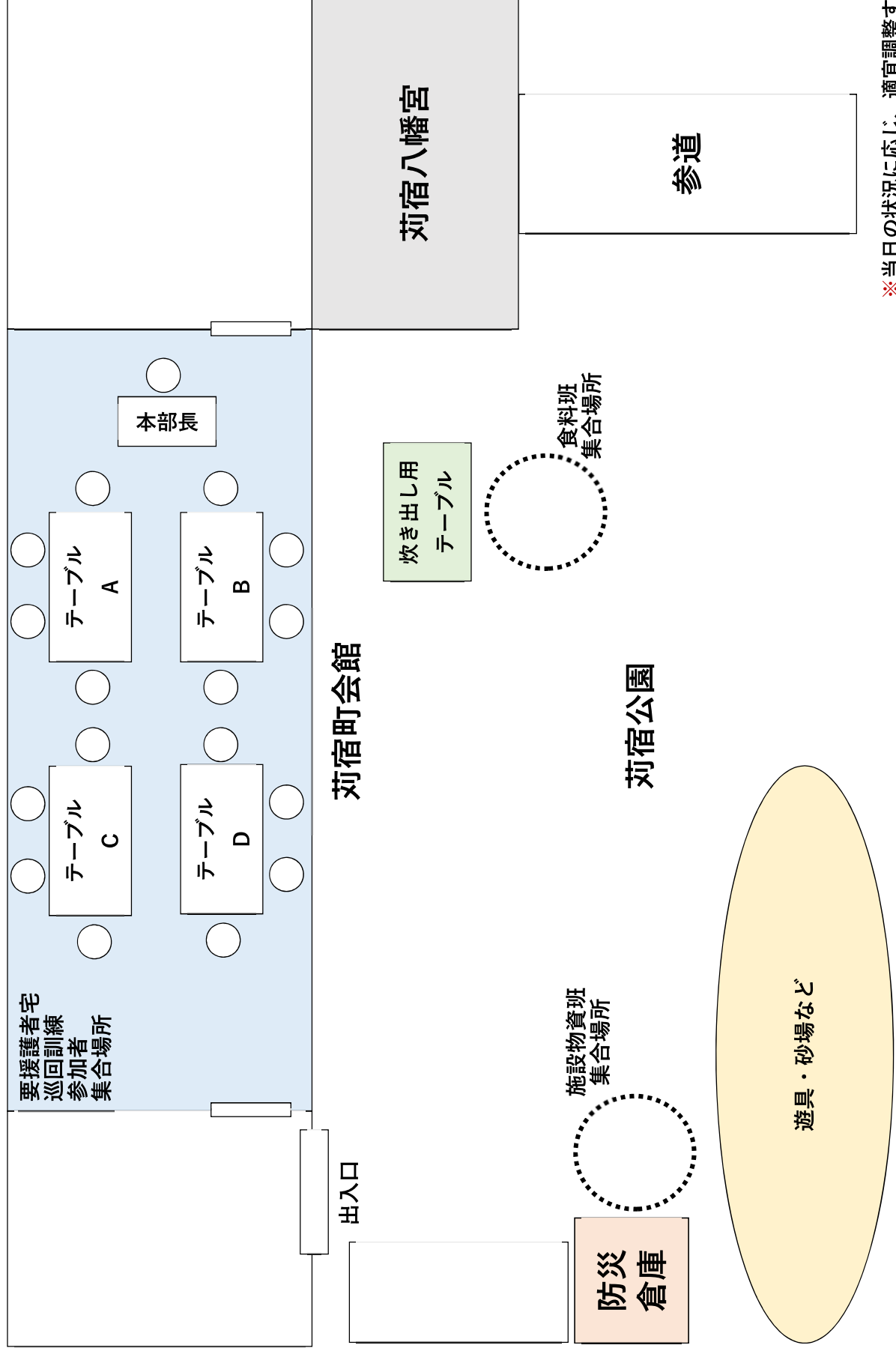
区分	伝達内容
発信者	(連絡網を回す先の電話番号を入力)
受信者	もしもし、こちらは〇〇〇です。
発信者	訓練、訓練です。警戒レベル3の水害発生。 災害対策本部の開設のため、避難場所の苅宿小学校に集合してください。
受信者	了解しました。本部開設のために、避難場所の苅宿小学校に集合します。
発信者	連絡網の次の方に連絡をお願いします。
受信者	了解しました。すぐに連絡します。

(4) 要援護者避難支援訓練 原稿

1. 要援護者の避難支援は、必ず複数人体制で行いましょう。
2. 発災時は、要援護者の方のご事情にあわせた避難支援が必要です。訓練では、最近のご体調や様子、困り事などについて伺っておくといいでしょう。
3. 原稿の一例は以下の通りです。状況に応じ、内容を調整すると良いでしょう。

区分	伝達内容
支援者	こんにちは、苅宿町会の〇〇〇です。避難支援の訓練に伺いました。
要援護者	▶ご不在の場合、そこで訪問は終了。 ▶いらっしゃった場合、状況を見ながらお話を伺う。
支援者	・ こんにちは、△△△さん。最近体調はいかがですか。 ・ 最近、何かお困り事はありませんか？ ・ 苅宿では日頃から、災害が起きた時に避難のお手伝いをする心の準備をしています。災害が起きた時の心配事はないですか？
要援護者	▶「特にない」と言われたら、それ以上無理に聞き出さない。 ▶「家族の支援がある」「独り身なので支援が必要」等、 <u>支援に関わる話が出たら、記録シートにメモ</u> しておくこと。
支援者	わかりました。何か困ったことがあったら、遠慮なくご連絡くださいね。また伺います。

7. 訓練会場レイアウト



※当日の状況に応じ、適宜調整する

8. ツール

(1) 共通ツール・資料

- ・ 苅宿町会防災マップ（資料編を参照）
- ・ 訓練アンケート
- ・ グループ討議レジュメ

(2) 参集訓練

- ・ 苅宿町会連絡体制表（資料編参照）

(3) 要援護者宅巡回訓練で使用するツール・資料

- ・ 要援護者支援 行動指針五箇条：35 ページ
- ・ 苅宿町会 要援護者・支援者マップ：36 ページ
- ・ 苅宿町会 要援護者記録シート：37-38 ページ
- ・ 巡回訓練グループ分け・担当要援護者一覧表：個人情報^の為、本マニュアルには非掲載

(4) 防災倉庫点検

- ・ 苅宿町会 防災倉庫チェックリスト：42 ページ
- ・ 防災資器材リスト（資料編参照）

(案)

要援護者支援 行動指針五箇条

一. まずは自分や家族の安全を確保！

二. 以下の場合になったら、支援活動を開始！

- ・ 中原区災害対策本部から要請があった場合
- ・ 警戒レベル3以上の水害が発生した場合
- ・ 震度5弱以上の地震が発生した場合
- ・ その他、町会長や役員が必要と判断した場合

支援する要援護者のお名前と連絡先

名前： (TEL:) 名前： (TEL:)

三. 基本は複数人で1人の要援護者を支援！1人では行動しない！

一緒に行動する支援者のお名前と連絡先

名前： (TEL:) 名前： (TEL:)

四. 自宅避難が基本！

災害状況に応じて避難場所へ誘導！

- ・ 地震に伴う家屋倒壊 ⇒ 避難所（菟宿小学校）
- ・ 警戒レベル3以上の発令 ⇒ 避難所（菟宿小学校）
- ・ 火災が発生 ⇒ 避難所（菟宿小学校）もしくは
広域避難場所（中原平和公園）

※避難が難しい場合は、隣家に見守りを願います

五. 安否確認や避難支援が完了したら●●●●●に連絡する！

複写厳禁

苜宿町会 要援護者・支援者MAP

所有者氏名：



支援者連絡表

名前①
()
TEL :

名前②
()
TEL :

複写厳禁

苅宿町会 要援護者記録シート

所有者氏名：

No.1

フリガナ		性 別	年 齢	独 居
氏 名		男・女	歳	
メモ				

No.2

フリガナ		性 別	年 齢	独 居
氏 名		男・女	歳	
メモ				

No.3

フリガナ		性 別	年 齢	独 居
氏 名		男・女	歳	
メモ				

No.4

フリガナ		性 別	年 齢	独 居
氏 名		男・女	歳	
メモ				

No.5

フリガナ		性 別	年 齢	独 居
氏 名		男・女	歳	
メモ				

No.6

フリガナ		性 別	年 齢	独 居
氏 名		男・女	歳	
メモ				

No.7

フリガナ		性 別	年 齢	独 居
氏 名		男・女	歳	
メモ				

No.8

フリガナ		性 別	年 齢	独 居
氏 名		男・女	歳	
メモ				

苅宿町会防災訓練について

みなさまのご意見をお聞かせください！

- 1 訓練で良かったこと・改善が必要だと思ったことなどをお書きください。

- 2 「こんな訓練をした方が良いのではないか？」という提案があれば、お書きください。

皆様のご協力ありがとうございました。

お帰りの際、スタッフにお渡ししてください。

苅宿町会防災訓練アンケート

～みなさまのご意見をお聞かせください～

アンケート用紙にご記入の上、○月○日までに苅宿町会館ポストへ投函願います。

1. ご自身に該当する項目をすべてチェック（✓）してください。

性別	<input type="checkbox"/> 男性	<input type="checkbox"/> 女性		
ご年齢	<input type="checkbox"/> 20歳未満	<input type="checkbox"/> 20代	<input type="checkbox"/> 30代	<input type="checkbox"/> 40代
	<input type="checkbox"/> 50代	<input type="checkbox"/> 60代	<input type="checkbox"/> 70代	<input type="checkbox"/> 80歳以上
参加回数	<input type="checkbox"/> 初めて参加	<input type="checkbox"/> 1～2回参加したことがある		
	<input type="checkbox"/> 3回以上参加したことがある			
ご所属	<input type="checkbox"/> 町会役員	<input type="checkbox"/> 一般の居住者	<input type="checkbox"/> 苅宿地区外の居住者	

2. 訓練内容についてチェック（✓）してください。

- とてもためになった ためになった 普通
あまりためにならなかった 全くためにならなかった

3. 訓練全体のご感想をお聞かせください。

4. 今後取り上げて欲しい訓練項目があれば、お聞かせください。

皆様のご協力ありがとうございました。
頂いたご意見は、今後の防災訓練を充実させるために活用します。

グループ討議 2021 テーマ

震度 6 強の地震発生！

あなたは被災して、ケガを負い、動けません。

あなたの周囲には誰もいない模様です。

あなたは、ご自分の緊急事態発生をどのように知らせますか。

<メモ>

家の中、往来で、様々な状況が想定されます。

グループ毎に状況を設定してみましょう。

緊急事態を知らせるツールを持っていますか。

荻宿町会 防災倉庫チェックリスト

☆点検ポイント☆

【資 器 材】

- ・正常に動作・通電する
- ・破損やサビはない
- ・中身の劣化はない

【生活用品】

- ・包装の汚れはない
- ・カビや汚れはない
- ・正常に動作する

【食料】

- ・消費期限が残っている
- ・カビや異臭はない
- ・数が十分にある

点検日：20 / / 点検者：

次回点検予定日： / /

No	資器材名	数量	購入日	点検メモ・気づいた点	使用可否 (Ox)
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

メモ欄

- ・今後の補充用品 ：
- ・その他気になること：